

〈史料紹介〉

東大寺文書における防長関係史料

百 田 昌 夫

奈良市雜司町の東大寺収蔵庫には、東大寺成巻文書（百卷文書）等のほか、八千点余の未成巻文書が収められて いる。この東大寺文書は、東寺文書等と共に、現存する日本の古代・中世文書群中の白眉をなすものと称せられており、それだけに、すでに平安時代から一部目録整理

が始まられているし、また、十二世紀成立の「東大寺要

の結果、未成巻文書八、五一六通が、八四年、あらたに国的重要文化財の指定を受けた。このほど完結をみた「東大寺文書第一巻～第六巻」（七九～八四年刊、以下単に「目録」と表記）は、その調査成果のひとつとして公刊されたものである。

この「目録」には未成巻文書の一通ごとに以下の記載がある。およそその文書の形態と内容をも想像するこ

とを可能とするもので、文書目録の方法の問題を古文書

学に対して提起するものということもできよう。とくに

われわれ歴史資料保存利用機関の職員としては、目録作成の単なる技術論としてではなく、個々の文書を把握する視点の問題として「東寺百合文書目録第一～第五」(七六～七九年刊、京都府立総合資料館編)とともに、学び取るべきものがあると考える。^③

(1)番号 (2)文書名 (3)欠損 (4)日附 (5)寸法 (6)紙数
(7)時代 (8)形状 (9)端裏書・端書 (10)本文の首部 (11)本文の末尾
(12)差出 (13)充所 (14)表書（ウハ書） (15)切封帶（ある場合のみ）
(16)封墨引（表書がなく墨引のみの場合） (17)特記すべき事項 (18)脚注（主として庄園名）

ここでは、「目録」に表現された地名・人名等に依拠して試みた防長関係史料の検出結果を編年目録化するとともに、それと、戦前の山口県史編纂所（一九三七～四年）において作成された稿本「東大寺文書」（以下「旧県史稿本」と表記）との対照作業の結果を報告しておくこととする。室町時代をもってひとまず区切りとする

が、「旧県史稿本」の意義と限界について、その理解に資するところがあればさいわいである。^④
なお、したがって、つぎのようない場合は、検出の対象とならず、他日の精査を要するところである。
○防長関係の地名・人名等が「目録」には表現されない場合

(1)編年番号 (2)日附 (3)文書名（写の場合は書写年代を付記） (4)紙数（宿紙等の場合は紙質、單なる一紙堅紙以外の場合は形式を付記） (5)差出→充所 (6)脚注 (7)平、鎌、因、補、原（No.）（それぞれ、「平安遺文」、「鎌倉遺文」、「大日本古文書」、「神戸市史資料二」（一九二三年刊）、「旧県史稿本」での収載の場合）

(8)「目録」の文書番号

注① 東大寺文書の全体については、「岐阜県史史料編古代・中世三」（一九七一年刊）の「解説と解題」、稻葉伸道「〔書評と紹介〕『東大寺文書（第一巻）』（日本歴史393、一九八一）。防長関係史料については、三坂主治「周防国府の研究」（一九三三、増補復刻版一九七四）をはじめ、上司陽「周防国府八幡宮に就て」（防長史学5-1・2、一九三四）、国守進「鎌倉末期周防国衙の一動向」（国史論集、一九五九）、「与田保地頭に関する考察」（日本歴史137-138、五九）、「白石寺について―周防における東大寺の一末寺」（山口県地方史研究4、六〇）、「弘安八年周防国与田保田帳」（赤松俊秀教授退官記念国史論集、七二）、「周防袖の伝領と經營―鎌倉期の得地保を中心として―」（山口県文書館研究紀要2、七三）、田村哲夫「中世のやない」（柳井市史通史編、八四）など。

② たとえば、「毛利家文庫目録」の「年代」は、「その文書記録の成立年代をとり、……従つて、後年に複写されたものでも成立年代をとり、必要に応じて複写年代を註記した。」（同目録第一分冊の緒言、一九六三年刊）とされるのに対し、「目録」の「(7)時代」は、「(4)日附」と別に立項され、「現文書の書かれた時期、……従つて案文において

は、その書写された推定時期を示すもので、その正文が作られた時代を示すものではない。」とされる。この観点の相違は、近世の典籍中心の目録と中世の古文書中心の目録との相違とも言い得るし、「本館所蔵史料の検索と利用に資するため」という前者の刊行目的（第二分冊の凡例、六五年刊）と、「東大寺文書の保存措置をとるための基礎資料を得るために」という後者の調査目的（第六巻のあとがき、八四年刊）の相違とも言い得る。だが、利用と保存の二元論では不十分である。利用のためにも、形態や様式の問題が内容と不可分であることが、目録の記載方式上にも、可能であれば、示されるべきであろう。たとえば、近世文書の名称付与についても、文書内容を中心とする「……三付、願書」方式に対し、「差出人十文書様式名」をもって表題の柱となし、内容摘記は「」で別に記すという方式」の提起がある。「史料館所蔵史料目録第三十八集」（国立史料館編、一九八三）の安藤止人「解題」参照。

③ 山口県文書館架蔵（請求番号一県史一一九五～一二〇五、別表参照）。二〇〇字詰の「王政復古七十年記念 山口県史編集所」用箋合計一四〇〇余丁に筆写されている。上司陽「東大寺文書」（山口県史編纂所調査集報第二輯防長郷

東大寺文書における防長関係史料（百田）

土資料文献解題第一輯、一九四〇）参照。稿本の筆跡と「所在」欄の記載により、底本として、東京大学影写本（第一回～第三回採訪、第四回採訪）、東大寺図書館所蔵文書のほか、諸家

請求番号	No.	丁数	表紙題簽	(年代)
1195	1～54	120	東大寺文書	一 (天暦4～貞治3)
1196	1～100	151	東大寺文書	二 (永和2～天文13)
1197	1～69	145	東大寺文書	三 (明徳2～弘治2)
1198	1～50	174	東大寺文書	四 (永祿12～文祿5)
1199	1～31	131	東大寺文書	五 (慶長元～慶長11)
1200	1～47	202	東大寺文書	六 (慶長11～慶長20)
1201	1～23	147	東大寺文書	七 (元和2～寛永7)
1202	1～42	149	東大寺文書	八 (元和5～寛永7)
1203	1～16	90	東大寺文書	九 (元祿6～寛政11)
1204	1～80	183	東大寺文書	(建永2～寛永21)
1205	1～6	7	東大寺文書其他	(永仁2～文保2)
合計	(518)	1499		(天暦4～寛政11)

Noは、稿本の「件名」欄の記載順により想定した作業上の仮番号である。

意図が不明なもの

(國1195-016) - 24 - 500 (大和国安田
庄) 応保 2 · 4 · 14

(明治11年3月日) 伊賀國念仏堂庄)

〔昭和22年7月1日〕(昭1204-063)番-79-1 (根本修正装束)
元徳3・正・25 (原1204-069)室-72 (勸修寺宮兼学)

1) (國1202-031) 1-2-49 (油倉点定米)
応永14・5・27 (昭1196-030) 3-6-36 (竜池八講)

（圖1196—662）1—24—494
（維摩會助成）

4
卷之四

卷之三

永承4・2・29
(原1195-004、東南院文書) 平周防守
(原1195-006、東南院文書) 平周防国雜

永承4・2月日 (圓1195-006、東南院文書) 國周防守

天喜 3 . 12 .
天喜 4 . 3 . 29
(原1195-009、東南院文書) 平周防國

(天喜4) ③ 2 (國1195-011、東南院文書) 國周防國
久安4・5・10

採訪ノ一) 平(揖津國椋橋御庄・長州御厨—採録理由不明)

(大和国安田庄) (關1204-003' 京都大學國史研究室) 錄

玉祖社 建長元・9月 (西暦1204-001、京都大学国史研究室) 延。

(嘉慶文永) (西195-017) 東大寺文書影写本第一回
成名 小松原 朝田庄

採訪ノ二 周防國天役
(正□元) 6・11 (題1205-002、東南院文書) 固。防。州。國。務。

掌 永承 4 . 2 . 29 (昭1195—007 東南院文書) 周防守。
（昭1195—004 東南院文書） 周防國雜

- 〈建武2〉 (國1204-080、石塚書舗) 佐波令 (年未詳) 9・5 (國1197-067、東大寺文書影写本第一回)
- 貞和5・⑥・16 (國1195-049、東大寺文書影写本第一回)
- 採訪ノ六) 圖。曾根保 (年未詳) 10・5 (國1204-003、京都大学国史研究室) 玉祖社 大前新庄
- 貞和5・12・30 (國1195-050、ハール大学) 宇佐木保 (年未詳) 1・1 (國1197-064、京都大学国史研究室) 防州正税物
- 観応元・12・27 (國1195-051、帝國図書館・古簡雜纂) 与田保 (年未詳) 1・1 (國1197-064、京都大学国史研究室) 防州正税物
- 観応元・12・27 (國1195-051、帝國図書館・古簡雜纂) 与田保 (年未詳) 1・1 (國1197-064、京都大学国史研究室) 防州正税物
- 永和4・10・15 (國1196-005、帝國図書館・古簡雜纂) 与田保 (年未詳) 1・1 (國1197-064、京都大学国史研究室) 防州正税物
- 永和4 (月日欠) (國1196-006、京都帝国大学・諸家古文書) 与田保 (年未詳) 1・1 (國1197-064、京都大学国史研究室) 防州正税物
- 永和4 (月日欠) (國1196-006、京都帝国大学・諸家古文書) 与田保 (年未詳) 1・1 (國1197-064、京都大学国史研究室) 防州正税物
- 応永17・3・17 (國1204-060、東大寺文書影写本第一回) 採訪ノ六) 圖。富田保 (年未詳) 1・1 (國1197-064、京都大学国史研究室) 防州正税物
- 長禄2・7・30 (國1196-057、京都大学国史研究室) 防州正税物 (年未詳) 1・1 (國1197-064、京都大学国史研究室) 防州正税物
- 天正15・7・18 (國1198-038、京都帝国大学国史研究室・古文書纂) 防州候人 (年未詳) 1・1 (國1197-064、京都大学国史研究室) 防州正税物
- (年未詳) 6・14 (國1200-024、石塚書舗) 元就・隆元・元澄 (年未詳) 1・1 (國1197-064、京都大学国史研究室) 防州正税物
- 永仁2・7・27 (國1205-005、尊勝院文書) 圖 (関東御教書) (年未詳) 1・1 (國1197-064、京都大学国史研究室) 防州正税物
- 永仁2・10・10 (國1205-006、尊勝院文書) 圖 (周防国守護北条実政施行状案) (年未詳) 1・1 (國1197-064、京都大学国史研究室) 防州正税物
- 忍性申状案 (國1205-003、尊勝院文書) 圖 (*18606) (年未詳) 1・1 (國1197-064、京都大学国史研究室) 防州正税物
- 正安(2)・6・29 (國1205-004、高野山文書・宝簡集) 圖 (年未詳) 1・1 (國1197-064、京都大学国史研究室) 防州正税物
- ④ (太田庄嘉禎検注目録)
- 一、二の氣付きとして、④、⑤は「山口県史料古代編」(一九七三)に収められていない(逆に、同書所収の東南院文書永承元・10・3造東大寺司牒案が、「旧県史稿本」には洩れている)。また、⑥は、従来、周防阿弥陀寺文書には漏れている。また、⑦は、同様に、同書所収の東南院文書永承元・10・3造東大寺司牒案が、「旧県史稿本」との対照が困難なものについては、八四年十二月某日、東大寺図書館において、原本または写真版により点検させていただいた。ご協力をいたいた副館長狭川普文氏、新藤佐保里氏、奈良国立文化財研究所綾村宏氏に謝意を表したい。また、東大寺文書影写本については京都府立山城郷土資料館資料課技師田中淳一郎氏、「神戸市史資料」については兵庫県立歴史博物館学芸員小林基伸氏の教示を得て、いる。
- ⑤ ただし、たとえば⑧は、「目録」の文書番号1-6-15が、「与田保地頭公文相論文書案〔前後欠〕」一紙(統紙)を示すことにより、また、⑨・⑩は、同じく1-24-282が、「与田保地頭職重書等注進状案〔断簡〕」一紙(統紙)、1-6-20号「ヨリ接続ス」を示すことにより、掲出しておいた。
- ⑥ たとえば注③の⑧参照。

平安時代

- ① (天喜⁴) 3 . 28
 僧戒禪書状 一紙 (堅紙) 「僧戒禪状」→充所ナシ、周防。
 前加賀守源頼房啓状 一紙 「前加賀守源(花押)上」→「進上 東大寺別当 御室小舎人所」周防国。1 - 25 - 281
- ② (天喜⁴) ③ . 18
 前加賀守源頼房啓状 一紙 「前加賀守源(花押)上」→「進上 東大寺別当 御室小舎人所」周防国。1 - 25 - 281
- ③ (寛治⁸頃)
 東大寺諸莊文書并給図目録 一〇紙 (統紙) 原表紙アリ、周防国。1 - 25 - 281
- ④ 大治⁵ . 3 . 13
 東大寺諸莊文書并給図目録 一九紙 (統紙) 「専當大法師(花押)」以下九名連署→周防国。1 - 25 - 281
- ⑤ 保延³ . 9月日
 待賢門院下文案〔後欠〕 一紙 「別当權大納言兼陸奥出羽按察使藤原朝臣在判」以下現状五名連署→周防国。1 - 25 - 281
- ⑥ (仁平元⁵ 2)
 小東庄白米出納日記〔断簡〕 一紙 (大和國小東庄一国衙領ニアラズ) 圖 (1200-008) 1 - 5 - 145
- ⑦ 養和² . 4 . 28
 野寺住僧弁慶申状案 (七紙ノウチ) 「僧弁慶上」→、奥ニ在府官人・在地隨近刀祢司等・院内住僧等ノ加署アリ、又紙背二目代某及ビ國守某ノ証判案一箇所アリ、多ノ庄 与田公文。圖 (1195-019) 1 - 24 - 703 - (1)
- ⑧ 寿永元⁵ . 8 . 9
 周防國留守所下文案 (七紙ノウチ) 「目代一 在判」以テ七名連署→、野寺院主職。圖 (1195-019) 1 - 24 - 703 - (2)
- 鎌倉時代
- ⑨ 文治元⁵ . 7月日
 東大寺三綱連署解案 (土代) 一紙 「上座伝燈大法師位」玄巖」以下五名連署→、周防国。圖 (1195-020) 1 - 24 - 121
- ⑩ 建久⁸ . 12月日
 野寺住僧源慶申状案 (七紙ノウチ) 「僧源慶上」→、袖ニ国司某ノ外題案アリ、^(附)在判 (日附ナシ) 与田保。圖 (1195-019-022) 1 - 24 - 703 - (3)
- ⑪ 建永² . 3月日
 与田保司藤原某下文案〔前欠〕 (一紙ノウチ) 「保司散位藤原朝臣在判」→、周防本郡下小乃都乃本郡。圖 (1204-048) 1 - 6 - 15 - (1)
- ⑫ 建永² . 3月日
 与田保司藤原某下文案〔前欠〕 (一紙ノウチ) 「保司散位藤原朝臣在判」→、周防本郡下小乃都乃本郡。圖 (1204-048) 1 - 6 - 15 - (1)
- ⑬ 建永² . 3月日
 与田保司藤原某下文案 (一紙ノウチ) 「保司散位藤原朝臣在判」→周防国与田保民等所充。圖 (1204-027) 1 - 6 - 27 - 18 - (1)
- ⑭ 建保⁴ . 6 . 2
 周防國宣案 (一紙ノウチ) 「主税頭兼算博士三善朝臣在判」→留守所充。圖 (1204-067) 1 - 6 - 27 - 18 - (1)
- ⑮ 建保⁴ . 7 . 2
 前若狭守藤原某下文案 (一紙ノウチ) 「前若狭守藤原朝臣在判」→与田保充。圖 (1204-048) 1 - 6 - 15 - (2)
- ⑯ 建保⁵ . 正月日
 前若狭守藤原某下文案 (一紙ノウチ) 「前若狭守藤原朝臣在判」→与田保充。圖 (1204-048) 1 - 6 - 15 - (2)
- ⑰ 建保⁶ . 8 . 23
 周防國司下文案〔前欠〕 一紙 「主税頭兼算博士但馬介三善朝臣在判」→、末松名 (周防國留守所充) 1 - 6 - 27 - 15 - (4)
 18 - (2)号年月日未詳文書ヨリ接続ス
- 後鳥羽院下文案 一紙 「主典代織部正安倍朝臣在判」/判官代右少弁藤原朝臣→周防國玉祖社等充。圖 (1204-049) 1 - 6 - 15 - (3)
- ⑲ 承久⁴ . 3 . 18
 官宣旨案 (四紙ノウチ) 「左大史小観宿祢在判」/右少弁平朝臣在判→東大寺充、鶴野庄。圖 (1204-017) 10 - 20 - 21 - (1)
- ⑳ 寛喜元⁵ . 3 . 25
 東南院勾当兼信宮野庄領家職去狀 一紙 「院勾当大法師兼信(花押)」→、鶴野庄。圖 (1204-049-043) 1 - 6 - 15 - (5)
- ㉑ 寛喜² . 4月日
 近衛家政所下文案 (一紙ノウチ) 「別当周防守高階朝臣在判」→、与田保。圖 (1204-049-043) 1 - 6 - 15 - (5)

55	建長 5	7	7	11	國 (1204-034) 1	6	28	35	(7)
56	建長 5	7	7	11	國 (1204-034) 1	6	28	35	(8)
57	建長 5	10	3	3	國 (1204-036) 1	6	28	35	(5)
58	「弘長 2」	7	3	3	國 (1204-032) 1	6	26	26	
59	弘安 4	正	10	21	國 (1204-066) 1	6	26	26	
60	弘安 5	10	8		國 (1204-032) 1	6	26	26	
61	正応 3	7	月	日	○田保 雜掌陳状案 一紙				
62	正応 4	4	12	23	隨教白状案 (二紙ノウチ) 「隨教在判」↓、國府放火				
63	正応 4	4	12	24	隨教重白状案 (二紙ノウチ) 「隨教在判」↓、周防国守				
64	正応 5	5	正	29	安家白状案 (二紙ノウチ) 「又五郎安家在判」↓、周防国々府放火				
65	正応 5	5	正	晦	隨教白状案 (二紙ノウチ) 「隨教在判」↓、國府膳所				
66	正応 5	5	正	晦	隨教白状案 (二紙ノウチ) 「隨教在判」↓、國府放火				
67	正応 5	5	3	3	某申状 [前欠] 一紙 国府放火				
68	〔正応 5〕	4	19		年預五師久樹書状案 (土代) 二紙 (堅紙) 「年預五師久樹」↓「謹上 大夫法橋御房」国府放火	10	1	14	(5)
69	正応 5	5	5	月	東大寺僧聖尊等申状 一紙	5	1	22	354
70	正応 5	5	5	月	東大寺僧聖尊等申状 三紙 (続紙) 國府放火	5	1	29	
71	〔正応 5〕	6	30		伏見天皇綸旨案 (一紙ノウチ) 「左大臣 藤原頼藤」↓「謹上 別当殿」	1	3	1	27
72	〔正応 5〕	6	30		檢非違使別当宣案 (一紙ノウチ) 「民部少輔道衡」↓「高倉博士大夫判官殿」國府放火	1	3	1	27
73	〔正応 6	6	月)	大井庄下司鶴菊丸申状案 (一紙ノウチ) 与田保	1	3	1	27
74	永仁元	12	7		○田保 関東御教書案 二紙 (続紙) 「陸奥守在判」↓「丹波守殿」/「刑部少輔殿」宮野庄	1	1	1	179
75	〔正応 8	5	月)	國 (1204-006) 宝	1	1	1	179
76	永仁 3	11	9		國 (1204-065) 宝	1	1	1	179
77	永仁 3	11	9		寶	1	1	1	179
78	永仁 3	12	7		國 (1204-064) 宝	1	1	1	179
79	永仁 3	12	7		國 (1204-064) 宝	1	1	1	179
80	正安 3	12	月	日	國 (1204-064) 宝	1	1	1	179
81	〔嘉元參・卯・5〕	12	7		國 (1204-064) 宝	1	1	1	179
82	延慶 3	正	26		國 (1204-064) 宝	1	1	1	179
83	延慶 3	7	月	日	國 (1204-064) 宝	1	1	1	179
84	延慶 3	12	24		國 (1204-064) 宝	1	1	1	179
85	延慶 3	12	25		國 (1204-064) 宝	1	1	1	179
86	延慶 3	12	25		國 (1204-064) 宝	1	1	1	179
87	〔延慶 4〕	正	28		國 (1204-064) 宝	1	1	1	179
88	延慶 4	正	月	日	國 (1204-064) 宝	1	1	1	179
89	延慶 4	2	9		國 (1204-064) 宝	1	1	1	179
90	延慶 4	2	、		國 (1204-064) 宝	1	1	1	179
91	延慶 4	3	月	日	國 (1204-064) 宝	1	1	1	179
92	応長 2	2	25		國 (1204-064) 宝	1	1	1	179
93	正和 2	2	2		國 (1204-064) 宝	1	1	1	179
94	正和 2	3	10		國 (1204-064) 宝	1	1	1	179
95	東大寺文書における防長関係史料 (百田)				國 (1204-064) 宝	1	1	1	179
96	応長元年分文書勘渡帳	七	紙	(続紙)	「年預五師美專」↓、周防国。在府				
97	正和元年分文書勘渡帳	三	紙	(続紙)	「年預五師清寛」↓、周防国務				
98	周防国。在府。官人等起請文書	四	紙	(続紙)	「位所散位土師遠綱判」以下四〇名連署、				
99	東大寺文書における防長関係史料 (百田)				富田				

東大寺文書における防長関係史料（百田）

八八

南北朝時代

源弁奉書案（一紙ノウチ）「源弁在半」→「勝間殿」白石寺
周防国白石寺々僧百姓等連署起請文 二紙（続紙）「寺僧／了忻（花押）」以下寺僧一〇名
〔百姓／
教阿（略押）〕以下百姓九名連署→

年預五宗兼書状案	土代	一紙	一年預五宗兼書案	一語	一年預五宗兼書案
周防国白石寺預ヶ状案	一紙	「学侶年預範養」	↓	「学侶年預範養」	↓
二宮免田注文	一紙	（毎年參拾貫文）			
一氏	佐波令				
一氏	佐波令				

二宮免田治文
一紙 〔伊波〕
大法師俊賢等与田保新僧坊供納所得分壳券 一紙
〔大法師俊賢（花押）〕 以下三名連署→新助成万充、
圓 (1196-001) 3-5-1

僧叡兼新助成方用途借錢狀案
一紙 「叡兼在判」→、裏書(案)アリ、仁井令。(合四十三貫…)
圓(1196-002)3-6-1
圓(1196-003)3-6-1
圓(1196-004)1-1-5-1

東大寺造営料國周防目代靈惠國司得分送
良海等連署。東仁井令地頭方年貢壳券案 一紙 「良海在判」以下五名連署、(合式拾貢文) 國 (1196-007) 3-4-1 正判

⑩ 康暦2・3・29 良海等連署東仁井令年貢請文案
東大寺文書における防長関係史料（百田）

室町時代

㉙ 応永元・7月日	仁井。今年貢結解状 「年預盛円」→、(合拾貫文)	圓 (1196-019) 1-7-11
㉚ 応永2・2・6	仁井。令用途請取状 「請使聖法師／年預良範（花押）」→、(合拾貫文)	圓 (1196-020) 1-7-5
㉛ 応永2・3月日	仁井。今年貢結解状 「年預盛円」→、(合正米廿石代錢拾四貫…)	圓 (1196-026) 1-7-16
㉕ 応永2・7月日	仁井。今年貢所納日記 「年預代清覺」→、(合四十式貫…)	圓 (1196-021) 1-7-23
㉖ 応永3・5・15	仁井。今年貢結解状 「年預經範」→、(合正米八十五石代錢伍拾四貫…)	圓 (1196-022) 1-7-15
㉗ 応永4・2・27	仁井。今年貢結解状 「年預経範」→、(合拾貫文、正米伍拾陸石・代錢肆拾玖貫…)	圓 (1196-023) 1-7-20
㉘ 応永4・7・13	仁井。今年貢結解状案 「年預顯祐」→、(合拾貫文、正米廿五石・代錢參拾四貫…)	圓 (1196-024) 1-7-13
㉙ 応永5・8・20	仁井。令借書請取状 「教承（花押）」→、(永和2年七十貫…、明德4年十貫文…)	圓 (1196-084) 3-10-692
㉚ 応永7・3・9	新禪院宗清白石寺年貢請文 「新禪院住持宗清（花押）」→、(合參拾貫文)	圓 (1196-025) 1-7-21
㉛ 応永9・8月日	原長元。白石寺年貢請文 「智舜坊白石原長元（花押）」→、(合參拾貫文)	圓 (1196-027) 3-1-118
㉝ 応永10・25	東仁井。今年貢米錢送状 「貞綱（花押）」→、(正米二十石、正米十石…)	圓 (1196-029) 1-7-19
㉞ 応永11・2・10	周防国白石寺・勝間年貢請文 「惣端（花押）」→、(合參拾五貫文白石寺分、五貫分勝間分)	圓 (1196-028) 1-5-27
㉟ 応永12・2・10	応永十一年分文書勘渡帳〔前欠〕 「元祐五師寛英」→、[鷲庄]	圓 (1196-029) 1-7-19
㉛ 応永15・3・10	東仁井。今年貢米錢送状 「貞綱（花押）」→、(正米二十石、正米十石…)	圓 (1196-027) 3-1-11-23
㉜ 応永16・8月日	法橋叡承。東仁井。今年貢請文案 「法橋叡承判形／其年之年預光寛」→、(合拾貫文)	圓 (1196-031) 3-1-4-104
㉝ 応永21・⑦・28	貞綱。仁井。今年貢請文 「貞綱（花押）」→、(正米伍拾石仁井令、正錢伍拾貫文)	圓 (1196-032) 3-1-4-116
㉞ 応永23・11・3	元祐。白石寺・勝間年貢請文 「元祐（花押）」→、(合肆拾貫文)	圓 (1196-035) 3-1-4-123
㉟ 応永24・2・4	惠昆。白石寺・勝間年貢請文 「惠昆（花押）」→、(合肆拾貫文)	圓 (1196-041) 3-1-4-123
㉛ 応永25・2・25	光春起請文 「光春（花押）」→、仁井令	圓 (1196-041) 3-1-4-123
㉜ 応永26・3・28	ふくしゅ女年貢得分壳券 「ふくしゅ女（花押）」→、「てんか」との御うちかた」[仁井令]	圓 (1196-041) 3-1-4-123
㉝ 応永27・3・28	河上庄六名三斗米結解状 「納所寛英」→、(大和国河上庄、仁井令ニアラヅ)	圓 (1196-037) 1-7-1-40
㉞ 応永28・6・5	元祐。白石寺・勝間年貢請文案 「元祐（花押）」→、「衆徒中」周防國。衙	圓 (1196-037) 1-7-1-40
㉟ 応永29・6・5	元祐。白石寺・勝間年貢請文 「元祐（花押）」→、(合肆拾貫文)	圓 (1196-036) 3-1-4-122
㉛ 応永30・6・5	元祐。白石寺・勝間年貢請文 「元祐（花押）」→、(合肆拾貫文)	圓 (1196-036) 3-1-4-122
㉜ 応永31・10・8	光春起請文 「光春（花押）」→、仁井令	圓 (1196-035) 3-1-4-123
㉝ 応永32・3・25	応永廿年分文書勘渡帳〔断簡〕 「仁井令」	圓 (1196-041) 3-1-4-123
㉞ 応永33・3・28	河上庄六名三斗米結解状 「納所寛英」→、(大和国河上庄、仁井令ニアラヅ)	圓 (1196-037) 1-7-1-40
㉟ 応永34・8・22	足利道詮（義持）御判御教書 「（花押）」→、「衆徒中」周防國。衙	圓 (1196-037) 1-7-1-40
㉛ 応永35・8・28	足利道詮（義持）御判御教書案 「沙弥（花押）」→、「当寺学侶中」東仁井令	圓 (1196-038) 3-1-4-96
㉜ 応永36・6・10	融算周防國白石寺・勝間年貢請文 「沙弥（花押）」→、「当寺学侶中」東仁井令	圓 (1196-039) 3-1-4-96
㉝ 応永37・6・10	融算周防國白石寺・勝間年貢請文 「沙弥（花押）」→、「当寺学侶中」東仁井令	圓 (1196-040) 1-7-1-9
㉟ 応永38・8・22	室町將軍家御教書案 「沙弥（花押）」→、「当寺学侶中」東仁井令	圓 (1196-040) 1-7-1-9
㉛ 応永39・8・22	沙弥道詮（義持）御教書 「沙弥（花押）」→、「当寺学侶中」東仁井令	圓 (1196-041) 3-1-4-96
㉜ 応永40・8・22	登々女東仁井令地頭方給主職年貢錢壳券案 「登々女（花押）」→、「子息帥公春海（花押）」→、東大寺學	圓 (1196-043) 3-1-5-9
㉝ 応永41・8・22	信田充（合五貫文） 「登々女（花押）」→、「子息帥公春海（花押）」→、東大寺學	圓 (1196-043) 3-1-5-9
㉟ 応永42・8・22	登々女東仁井令地頭方給主職年貢錢壳券案 「登々女（花押）」→、「子息帥公春海（花押）」→、東大寺學	圓 (1196-043) 3-1-5-9

(合五貫文)	
㉙ 応永 34 · 8 · 24	桶井後家等東仁井令地頭方給主職年貢壳券案〔前欠〕一紙 「桶井後家在判」以下八名連署→、(3-1-5-319) 5-1-320号ヨリ接続ス)
㉚ 応永 34 · 8 · 24	桶井後家等東仁井令地頭方給主職年貢壳券一紙(続紙) 「桶井後家(花押)」
㉛ (応永 34 · 8 · 24)	桶井後家等東仁井令地頭方給主職年貢壳券案〔後欠〕一紙 東大寺学侶中充、(以下1-7-28号ニ接続)、
㉜ 応永 34 · 月 日	周防國東仁井令地頭方年貢請文案一紙 差出書欠、→、(正錢伍拾貫文 正米伍拾石) 圖(1196-042)3-5-319
㉝ 正長元 · 10 · 20	周防國白石寺・勝間代官職補任状一紙 「学侶年預英真」→内藤智得充、 圖(1196-044)1-7-28
㉞ 正長元 · 11 · 24	勝間村厨子宮神領免田注文案四紙(続紙) 「宮司有尊在判」→、
㉟ 正長元 · 12 月 日	白石寺納所諸色注進状案三紙(続紙) 「公文在判」→、 圖(1196-034)3-5-10
㉛ 永享 4 · 8 · 10	目代玉祐周防國白石寺并勝間年貢請文一紙 「日代玉祐(花押)」→、 圖(1196-047)1-5-36
㉕ 永享 4 · 8 · 10	目代玉祐周防國白石寺并勝間年貢請文一紙 「日代玉祐(花押)」→、(合肆拾貫文) 圖(1196-049)1-5-106126
㉖ 永享 7 · 6 · 27	僧賢眞・賢慶連署田地壳券一紙 「新卿公賢眞(花押)大夫公賢慶(花押)」→、 圖(1196-050)3-4-106126
㉗ 永享 8 · 11 · 13	使田吉木千代丸 圖(1196-047)1-5-36
㉘ 永享 12 · 11 · 28	江口成繩東仁井令年貢請文二紙(続紙) 「江口十郎成繩(花押)」→「東大寺学侶年預御房」(正米五十石 正錢五拾貫文 塩五石 千鯛五十枚 釜一) 圖(1196-051)1-5-30
㉙ 永享 12 · 11 · 28	周防國東仁井令代官職補任状案(土代)一紙 「学侶年預英豪」→、(正米五拾石 正錢五拾貫文) 圖(1196-052)1-5-29
㉚ 永享 12 · 11 · 28	十郎東仁井令年貢請文案一紙 「学侶年預英豪十郎」→、(正米五十石 千鯛五十枚 釜一) 圖(1196-053)1-7-24
㉛ 永享 12 · 11 · 28	周防國東仁井令代官職補任状案(土代)一紙 「学侶年預英豪」→、(正米五拾石 正錢五拾貫文) 圖(1196-054)3-4-129105
㉜ 文安元 · 12 · 7	室町幕府過書案一紙 「左京大夫源朝臣(花押影)」→、国防団衙 大井庄石包名年貢納分注文二紙(続紙) (美濃國大井庄、國衙領ニアラズ) 圖(1196-054)3-4-129105
㉝ 文安元 · 12 · 7	周防國東仁井令年貢請文一紙 「江口龜王丸(花押)」→、(正錢伍拾貫文 正米伍拾石) 圖(1196-055)1-5-37
㉞ 文安 4 · 2 · 9	周防國東仁井令年貢請文一紙 「正錢伍拾貫文 正米伍拾石) 圖(1196-055)1-5-37
㉟ [文安 4 · 3]	周防國東仁井令年貢請文案一紙 「——」→、(正錢伍拾貫文 正米伍拾石) 圖(1196-055)1-5-37
㉛ 文安 4 · 7 · 23	周防國東仁井令代官職補任状案二紙 「学侶年預亮信」→、東仁井領(正錢伍拾貫文 正米伍拾石) 圖(1196-055)1-5-37
㉜ 宝徳 2 · 12 · 3	周防國富田公用米送狀一紙 「玉祐(花押)」→、「油倉御侍者」竈戸関葉師丸(正米式百四十石) 圖(1196-056)3-4-102139178
㉝ 宝徳 3 · 12 · 18	目代玉収白石寺并勝間年貢請文一紙 「日代玉収(花押)」→、(合肆拾貫文) 圖(1196-056)3-4-102139178
㉞ [宝徳 3]	周防國富田公用米送狀一紙 「油倉玉収(花押)」→、(正米肆百石) 圖(1196-056)3-4-102139178
㉟ 宝徳次 · 正 · 15	周防國富田公用米送狀一紙 「油倉玉収(花押)」→、「油倉御侍者」(正米五十八石) 圖(1204-053)1-24-175501102139178
㉛ 享徳 4 · 5 · 8	周防國富田公用米送狀一紙 「玉収(花押)」→、「油倉御侍者」(正米五十八石) 圖(1204-053)1-24-175501102139178
㉜ 享徳 4 · 5 · 8	周防國富田公用米送狀一紙 「玉収(花押)」→、「油倉御侍者」(正米五十八石) 圖(1204-053)1-24-175501102139178
㉝ 長禄 2 · 7 · 12	周防國富田公用米送狀一紙 「玉収(花押)」→、「油倉御侍者」(正米五十八石) 圖(1204-053)1-24-175501102139178
㉞ 長禄 4 · 5 · 13	周防國富田公用米送狀一紙 「玉収(花押)」→、「油倉御侍者」(正米五十八石) 圖(1204-053)1-24-175501102139178
㉟ 享徳 4 · 5 · 8	周防國富田公用米送狀一紙 「玉収(花押)」→、「油倉御侍者」(正米五十八石) 圖(1204-053)1-24-175501102139178
㉛ 享徳 4 · 5 · 8	周防國富田公用米送狀一紙 「玉収(花押)」→、「油倉御侍者」(正米五十八石) 圖(1204-053)1-24-175501102139178
㉜ 享徳 4 · 5 · 8	周防國富田公用米送狀一紙 「玉収(花押)」→、「油倉御侍者」(正米五十八石) 圖(1204-053)1-24-175501102139178
㉝ 享徳 4 · 5 · 8	周防國富田公用米送狀一紙 「玉収(花押)」→、「油倉御侍者」(正米五十八石) 圖(1204-053)1-24-175501102139178
㉞ 佐波。令年貢米請取狀一紙 「奉行嚴海(花押)」→、(合肆貫文)	周防國富田公用米送狀一紙 「玉収(花押)」→、「油倉御侍者」(正米五十八石) 圖(1204-053)1-24-175501102139178
㉟ 富田。富海。代錢請取狀一紙 「快賢(花押)」→、(合伍貫文)	周防國富田公用米送狀一紙 「玉収(花押)」→、「油倉御侍者」(正米五十八石) 圖(1204-053)1-24-175501102139178
㉛ 周防國富田年貢米代錢請取狀一紙 「戒壇院年預代」(花押)→、(合八百文)	周防國富田公用米送狀一紙 「玉収(花押)」→、「油倉御侍者」(正米五十八石) 圖(1204-053)1-24-175501102139178

東大寺文書における防長関係史料（百田）

100

② 寛正 5 · 7 · 11	富田公用錢請取狀 一紙 「戒壇院年預令洞（花押）」→、(合壱貢文)	圓 (1196—076) 3 · 10
② 寛正 5 · 7 · 19	防州年貢錢請取狀 一紙 「讚岐奉 □□（花押）」→、(合拾伍貢文)	圓 (1196—083) 3 · 10
② 寛正伍 · 7 · 23	玄範周防國料足請取狀 一紙 「玄範（花押）」→、周防料足 由良日前 (合九貢…)	圓 (1196—068) 3 · 10
② 寛正 5 · 7 · 晦	得善保司跡分料足請取狀 一紙 「新禪院知事 清秀（花押）」→、	3 · 10
② 寛正 5 · 7 · 晦	「静春 玄範（花押）」→黒河保 平井保 三坂保 (合八貢…)	245 647
② 寛正 5 · 7 · 晦	富田公用錢請取狀 一紙 「戒壇院年預令洞（花押）」→、(合參貢文)	圓 (1196—069) 3 · 10
② 寛正 5 · 7 · 晦	曾祢保司得分請取狀 一紙 「深位坊 澄延（花押）」→、(合八百九十一文)	圓 (1196—075) 3 · 10
② 寛正 5 · 7 · 晦	驚頭五師得分年貢錢請取狀 一紙 「先年預五師賢祐（花押）」→、	圓 (1196—080) 3 · 10
② 寛正 5 · 8 · 晦	周防國富田保得分請取狀 一紙 「賢幸（花押）」→、「油倉知事御中」(合六百二十四文)	3 · 10
② 寛正 5 · 8 · 3	周防國富海并宮野米代錢請取狀 一紙 「水門 快賢（花押）」→、奥ニ快賢ノ油倉知事充副書アリ、(合壹)	圓 (1204—058) 10 · 111
② 寛正 5 · 8 · 15	戸田年貢錢請取狀 一紙 「(花押)」→、	3 · 10
② 寛正 5 · 9 · 6	防州富田米代錢請取狀 一紙 「戒壇院年預令洞（花押）」→、(合五貢文)	圓 (1196—067) 3 · 10
② 寛正 5 · 9 · 6	防州年貢錢請取狀 一紙 「玄範（花押）」→、	3 · 10
② 寛正 5 · 9 · 6	富田春船米代物請取狀 一紙 「快賢（花押）」→、(合式貢)	圓 (1204—016) 10 · 93
② 寛正 5 · 9 · 11	防州吉木年貢代錢請取狀 一紙 「くわんかくいん 珍賢（花押）」→、(合七百四十五文)	圓 (1196—066) 3 · 10
② 寛正 5 · 11 · 6	鬼武年貢用途請取狀 一紙 「戒壇院年預令洞（花押）」→、富田保 (合・伍百九十四文)	686 683 678 664
② 寛正 5 · 11 · 6	周防國上小野保司得分等請取狀 一紙 「善阿弥（花押）」→、束荷 (合拾三石…)	圓 (1196—079) 3 · 10
② 寛正 6 · 25	周防國富田得分錢請取狀 一紙 「イヌキ賢（花押）」→、(合壱貢…)	1 · 24 · 741
② 応仁元 · 12 · 5	周防國國衙領正稅米送狀 一紙 「玉舜（花押）」→、「油倉江 参」竈戸 関篠師丸 (兩年分拾石…)	1 · 15 · 196
② 応仁 2 · 正 · 晦	薬師丸年貢算用狀 一紙 「御問丸三郎右衛門 友久（花押）」→、「御問丸道祐」→、(合現米八拾壱石…)	神 1 · 15 · 187
② 応仁 2 · 正 · 晦	新禪院光兼周防國德善保司年貢米請取狀 一紙 「新禪院光兼（花押）」→、「油倉御知事御房」	圓 (1196—099) 1 · 24
② 応仁 2 · 2 · 4	中院順実戸田保司年貢米請取狀 一紙 「新禪院光兼（花押）」→、「油倉御知事御房」	圓 (1204—054) 1 · 24
② 応仁 2 · 2 · 4	周防國上小野保司得分等請取狀 一紙 「善阿弥（花押）」→、束荷 (合拾三石…)	圓 (1196—093) 3 · 10
② 応仁 2 · 2 · 5	周防國富田得分錢請取狀 一紙 「イヌキ賢（花押）」→、(合壱貢…)	圓 (1196—095) 3 · 10
② 応仁 2 · 2 · 5	周防國富田得分錢請取狀 一紙 「水門殿代 経継（花押）」→、	1 · 24 · 492
② 応仁 2 · 6 · 5	周防國佐波令年貢米代錢請取狀 一紙 「讚岐房 □□（花押）」→、「尾張房行藤（花押）」→、	8 · 11
② 応仁 2 · 6 · 5	周防國守護代陶弘房書狀案 (一紙ノウチ) 「弘房判」→、「浅江美濃入道殿 江良丹後守殿 / 伊香賀伊賀守	圓 (1204—023) 1 · 5 · 127
② 応仁 2 · 9 · 10	周防國守護代陶弘房書狀案 (一紙ノウチ) 「弘房判」→、「浅江美濃入道殿 江良丹後守殿 / 伊香賀伊賀守	圓 (1204—023) 1 · 5 · 127
② 応仁 2 · 9 · 10	周防國守護代陶弘房書狀案 (一紙ノウチ) 「弘房判」→、「進上 待者上人御中」	圓 (1204—023) 1 · 5 · 127
② 応仁 2 · 9 · 12	周防國守護大内氏奉行人連署奉書案 (一紙ノウチ) 「重家 判 景鄉 判 種宗 判」→、「浅江美濃入道殿 伊香賀伊賀守殿 江良丹後守殿 / 安岡和泉入道殿 面・御中」富田令 富田船 圓 (1204—023) 1 · 5 · 127	圓 (1204—023) 1 · 5 · 127
② 応仁 2 · 9 · 12	周防國守護奉行人連署奉書案 (折紙) 一紙 「重藤在判 / 道円 在判」→、「問田備中守殿 / 岱屋石見入道殿 / 森美濃守殿 / 加藤次郎右衛門入道殿 / 貢伊勢守殿 / 面々御中」	圓 (1204—023) 1 · 5 · 127

